

家族・地域支援学科 **3**つのポリシー

アドミッション・ポリシー

ヒューマンイズムの精神に基づき、人間社会全体への関心とこれに貢献する意欲を持ち、子どもをめぐる環境や社会福祉、家族、地域、介護、学校内外での生活環境に関心があり、これらの分野に関わる職業を目指す入学者を求める。

カリキュラム・ポリシー

家族・地域支援学科の専門教育科目では、専門基礎科目・専門発展科目において社会福祉士養成課程の科目をはじめ、介護福祉士養成、スクールソーシャルワーク養成やアフタースクール(学童・居場所等)支援、世代間・多文化共生社会等に対応できる能力を身につけるための科目を配置し、乳幼児・児童から高齢者までを包含する家族と地域に関する理解を深め、思考する態度を身に付けることができるようにしています。

また、対人支援に必要な医学的、乳幼児、児童、障害児・者、高齢者に関する理解、支援の方法を学ぶ科目を配置している。さらに、福祉援助技術、生活支援技術、介護技術に関する基本的な知識から専門的な技術まで、演習や実習を通して実学を深めることができるよう科目を配置しています。

これらの全体を通して、子どもをめぐる環境と社会福祉に関する社会福祉学の学びを深め、家族と地域をめぐる問題の理解と、その解決のための支援方法を学んでいくことができる科目を配置しています。

ディプロマ・ポリシー

- 子どもをめぐる全体的な問題を社会福祉学的に捉える能力を身に付け、福祉社会に貢献できる知識を身につける。
- 子どもとその家族や地域をめぐる課題に対して、社会福祉学の知見に基づく自己の考えを持ち、それを表現することができる。
- 困難な状況に置かれている子どもや子どもをめぐる人々全体の環境を整備・改善するための支援技術を身につけ、地域の人々や資源との協働において主体性を発揮できる。